

ヨシ刈りボランティアを実施しました！

～ニゴロブナ・ワタカ放流式も同時開催～



12月10日(土)、安土町西の湖(近江八幡市)にて、滋賀県水産振興協会様・淡海環境保全財団様のご協力のもと、「ヨシ刈りボランティア」と、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ・ワタカ」の放流式を開催しました。当日は、当行役職員(大津エリア、大阪エリア)と協働いただいた損害保険ジャパン株式会社の皆さん、総勢205名が参加。

ヨシ刈りでは、伸びたヨシを鎌で刈り取り、紐で束ねてヨシ山を作りました。放流式では、バケツに入ったニゴロブナ・ワタカの稚魚を、大きく育つよう願いを込めて琵琶湖に放ちました。終了後は、獣害対策や食品ロス問題の解決につながるCoCo 壱番屋さんの鹿肉カレー等を参加者全員で美味しくいただきました。当行はこれからも琵琶湖の生態系保全に積極的に取り組んでまいります。



刈ったヨシは腐食を防ぐためにヨシ山を作って乾燥させるんだ。

その後、ヨシ紙に生まれ変わってグループ職員の名刺に利用しているよ！

